SARAYA

保証書付 屋内用

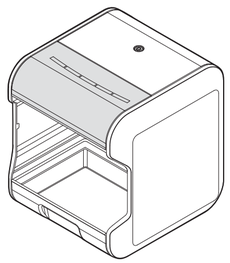
サラヤ自動手指消毒器

HDI-2020

取扱説明書

型式 HDI-2020
HDI-2020 自動ドア連動機能付

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。本紙をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも確認いただける場所に保管してください。
ご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」までお問い合わせください。



付属品

- 鍵……1個
- 火気厳禁ラベル……1枚
- 取扱説明書……本紙

目次

ページ

安全上のご注意…… 1
・設置上の注意
・使用上の注意
各部の名称…… 4
据え付けについて…… 5
お使い始めの前に…… 6
・操作部フタの開閉方法
・ご使用前の準備
ご使用方法…… 7
・薬液の補給方法
・薬液噴射量の変更方法
・手指の消毒方法
お手入れ方法…… 9
・外観の掃除方法
・手指センサー部の掃除方法
・噴射ノズル・メッシュの掃除方法
・保管方法
自動ドア連動機能について…… 11
・自動ドア接続仕様
・接続方法
・使用時の自動ドア連動
修理を依頼される前に…… 13
仕　様…… 13
保証とアフターサービス…… 14
・保証について
・アフターサービスについて
・サラヤメンテナンスシステム
保証書…… 裏表紙
お問い合わせ窓口…… 裏表紙

お問い合わせ窓口
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
サラヤ株式会社
TEL.06-6797-2525 URL.https://www.saraya.com/
電話受付:平日（日祝および弊社休日を除く）9:00～18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

20190723-01/MS

保証書

本製品は、厳しい検査、出荷前検品を経て、お届けしております。万一、ご使用中の不具合が生じた場合は、この保証書記載内容にもとづき無償修理を行いますので、下記「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。
その際には必ずこの保証書をご提示ください。
なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※登録情報変更・修理依頼は、裏面下段「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。

型式	HDI-2020 / HDI-2020 自動ドア連動機能付		
製造番号	※本品底面の製造ナンバー参照	保証期間	年　月　日から 1年間（ご購入日）

ご記入いただきましたお名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は、保証期間内のサービス活動および、その他の安全維持活動をお知らせのために使用いたします。（サラヤ株式会社 https://www.saraya.com/privacy ご確認ください）
お電話でのお問い合わせは、06-6797-3111（個人情報担当（平日9時～18時））まで お問い合わせください。

ご購入日	年　月　日
ご住所	〒□□□-□□□□　都道府県　市区町村
TEL.（　　）　－
FAX.（　　）　－
ご芳名	ご担当者
販売場所	

保証規定

1. 「取扱説明書」「本体貼付ラベル」などの注意に従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理*いたします。万一、損傷品などにより事業の全部又は一部の交換をさらに出張訪問にて交換する必要をいたできません。（※当社の判断にもとづく本製品の全部または一部の交換をさします）
2. 次の場合には、保証期間内であっても有償にいたします。
(イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) 納品後の移動・落下・輸送によって生じた故障・損傷。
(ハ) 火災、塩害、ガス害、異常水圧、異常気象、および地震・雷・風水害、その他の天災地変による故障・損傷。
(ニ) 保証書のご提示がない場合。
(ホ) 保証書に未記入、あるいは字句訂正をされた場合。
3. この保証書は日本国内にのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は、特許、実用新案および意匠権の対象となる製品に関する「返品・交換」の保証書による保証を実行しているものであり、製品そのものの事業に対する直接の効果（収益性の向上）、および、その他の付随的な損害については保証の対象外です。

お問い合わせ窓口
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
サラヤ株式会社
TEL.06-6797-2525 URL.https://www.saraya.com/
電話受付:平日（日祝および弊社休日を除く）9:00～18:00

安全上のご注意 1

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
ここには、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷、または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味
- 行為を禁止する記号です。 例:
- 行為を強制、指示する記号です。 例:

設置上の注意 ⚠警告

湿気やほこりの多い場所に設置しない。
火災や感電、故障の原因になります。

丈夫で水平な場所に確実に取り付ける。
転倒・落下によるケガや故障、また誤作動の原因になります。

油やガスの漏れる恐れのある場所に設置しない。
火災の原因になります。

換気が十分に行える場所に設置し、換気する。
換気が不十分だと揮発した薬液が充満する可能性があり、引火したり気分が悪くなる恐れがあります。

本紙で禁止・指示した規格以外での設置は行わない。
事故やケガ、故障の原因になります。

結露が生じる場所に設置しない。
発火や感電、製品の故障や劣化の原因になります。

火気の近く、火花が出る器具の近くに設置しない。
火災や故障、変形の原因になります。

直射日光の当たる場所、高温になる場所に設置しない。
火災や故障、変形、誤作動の原因になります。

設置上の注意 ⚠注意

蛍光灯などの照明が近い場所や、強い光が当たる場所に設置しない。
誤作動の原因になります。

安全上のご注意 2

使用上の注意 ⚠警告

絶対に分解・修理・改造は行わない。
ケガや感電、故障の原因になります。
修理についてはお買い求めの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。

揮発性の引火物や可燃性スプレーを近くで使用しない。
引火による火災の原因になります。

電源コードを傷付けたり、過剰なストレスを加えたり、加熱したりしない。
火災や感電の原因になります。

指定する電源（AC100V）以外では使用しない。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが溜まらないように定期的に掃除する。
火災や異常発熱の原因になります。

電源コードを持たずに、本体を持ってコンセントから抜く。
電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

薬液の取り扱いについては、使用する薬液の注意事項に従う。
事故やケガの原因になります。

本紙で禁止・指示した規格以外での使用は行わない。
事故やケガ、故障の原因になります。

タバコ、ローソクなどの火気を近づけない。
火災や故障、変形の原因になります。

受皿に溜まった消毒液を捨てるときは、火気のある場所に捨てない。
火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグを持たない。
感電やショートの原因になります。

電源プラグやコードにいたみがあるとき、コンセントの差し込みがゆるいときなどは使用しない。
発火や感電、ショートの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。
たこ足配線などで定格を超えると、火災の原因になります。

異常発生時にはただちに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。
お買い求めの販売店、または当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

製品に水をかけない。
漏電による感電や火災、故障の原因になります。

安全上のご注意 3

使用上の注意 ⚠注意

落としたりぶつけたりして、強い衝撃を与えない。
故障の原因になります。

製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従う。

定期点検や掃除を行う。
製品の安全および性能を保つため、定期点検や掃除作業を行ってください。

長期間使用しないときや保管するときは以下の作業を行う。
10ページ「保管方法」をご参照ください。

薬液はこぼさないように装着する。
こぼれた場合はすぐに拭き取ってください。すべって転倒するなどの事故や変色の原因になります。

製品の上に物を置かない。
落下によるケガや故障の原因になります。

操作部フタを乱暴に開閉しない。
故障の原因になります。

操作部フタの開閉時は指詰めに注意する。
ケガの原因になります。

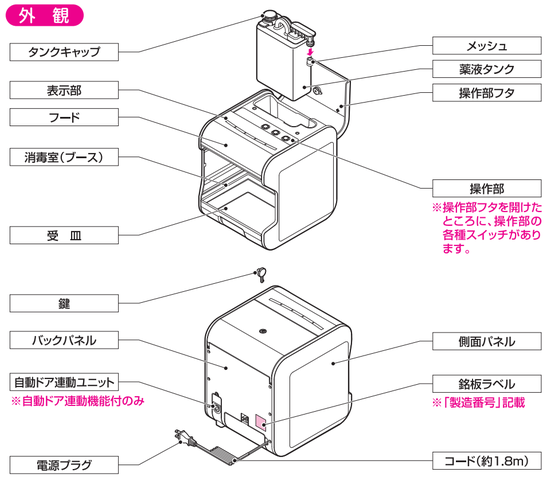
点検や掃除のときは運転を停止する。
感電やケガの原因になります。

当社指定の薬液以外は使用しない。
思いがけない事故や、故障の原因になります。

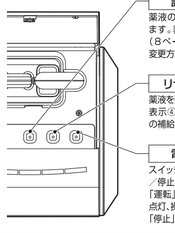
製品を移動させるときは薬液タンクを取り外す。
液漏れの原因になります。

各部の名称 4

外観



操作部

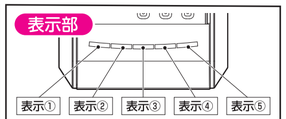


設定スイッチ
薬液の噴射量を設定変更します。表示①～表示⑤点灯（8ページ「薬液噴射量の変更方法」参照）

リセットスイッチ
薬液を強制送りします。
表示④点灯（7ページ「薬液の補給方法」参照）

電源スイッチ
スイッチを押すごとに「運転／停止」を切り替えます。
「運転」状態:該当表示ランプ点灯、操作可能。
「停止」状態:表示、操作不可。

表示部



噴射量ランプ:表示①～表示⑤
噴射量に応じて「点灯」し、噴射時に順次「消灯」します（8ページ「薬液噴射量の変更方法」参照）。

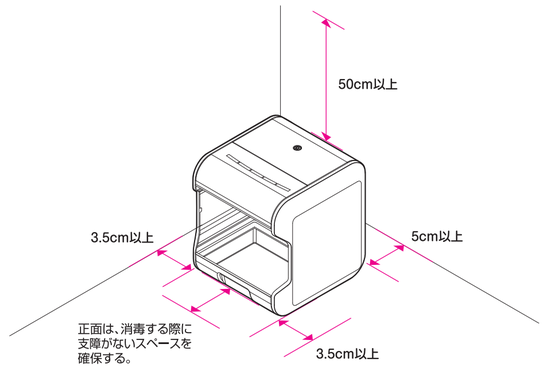
薬液切れランプ:表示④
薬液タンク内の薬液がなくなったときに点灯します。
点灯時は、噴射量ランプがすべて消灯し、消毒液は噴射しません（7ページ「薬液の補給方法」参照）。

受皿確認ランプ:表示⑤
受皿が外れているときに点灯します。点灯時は、噴射量ランプがすべて消灯し、消毒液は噴射しません（9ページ「外観の掃除方法」参照）。

据え付けについて 5

■安全にお使いいただくために

設置する際は水平で丈夫な場所を選び、障害物から下図に示す距離を取ってください。



注意

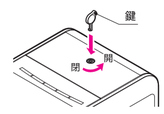
次の場所では使わないでください。
- 火気のある場所、火花の出るような器具の近く。
- 直射日光、スポットライトなどが当たる場所。
- 高温になる場所。
- 換気の悪い場所。
- ゴミ、ほこりの多い場所。
- 湿度の高い場所。
- 水や清掃用の薬剤が飛散するような場所。
- ノイズなどの障害電波が発生している場所。
- 腐食性ガスが発生している場所。

お使い始めの前に 6

操作部フタの開閉方法

本製品にはいたずら防止などのために鍵が付いています。
次の操作のときのみ鍵で開錠し、操作を行ってください。
- 電源スイッチを操作するとき
- 噴射量設定の変更をするとき
- 薬液の補給をするとき

①鍵を鍵穴に差し込み、開方向に回します。
②操作部フタを開けます。
③逆の手順で施錠します。





注意
- 鍵は失くさないよう大切に保管してください。
- 鍵は必要以上に力を加えると破損する恐れがあります。
- 開錠した状態・操作部フタを開けた状態では鍵を抜くことはできません。

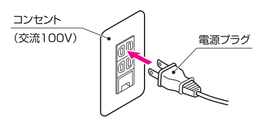
ご使用前の準備

1 電源との接続

電源プラグをコンセントに差し込みます。

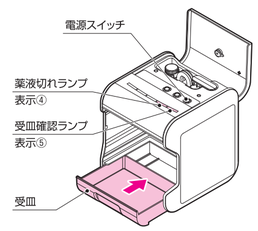
注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず運転スイッチを押し、「停止」状態にしてから抜いてください。



2 電源スイッチのON/OFF

電源スイッチを押すと「運転」状態になり、薬液切れランプが点灯します（薬液の補給前）。
※薬液切れランプが点灯しているときは、薬液は噴射しません。
再度、電源スイッチを押すと「停止」状態になり、すべての表示ランプが消灯します。



3 受皿の確認

受皿が確実に取り付けられていることを確認します。受皿確認ランプが消灯していれば取り付け完了です。

※受皿確認ランプが点灯しているときは、薬液は噴射しません。

薬液の補給方法

①操作部フタを開けて薬液タンクの取っ手を持ち取り出します。

②タンクキャップを開け、薬液を補給します（薬液タンクの容量は約1Lです）。

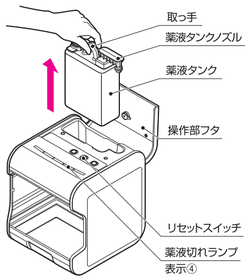
※Fullラインを超える量を補給しないでください。

③タンクキャップを閉め、タンクを本体へ装着します。装着した後、薬液タンクノズル部先端をしっかり押さえてください。

④リセットスイッチを押して、薬液を補給します。

※薬液切れランプが消灯します。

⑤6ページ「操作部フタの開閉方法」の要領に従って、操作部フタを閉めます。

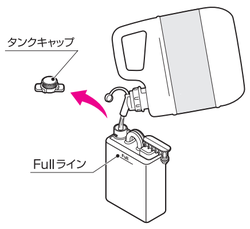


注 意

- ●当社指定の薬液を使用してください。
- ●薬液がこぼれたときは、すぐに拭いてください。
- ●薬液タンクの側面を強く押すと、液が飛び出る可能性があります。
- ●薬液タンクを倒すと液が漏れます。

「初期使用開始時」および「長期保管後の使用開始時」および「薬液切れランプ点灯時」は、薬液タンクに薬液を補給後、リセットスイッチを押してください。

薬液の残量確認のために薬液タンクを取り出した場合は、必ずリセットスイッチを押してください。
※リセットスイッチを押さずに使用すると、薬液タンクに薬液が残っていても液切れランプが点灯することがあります。



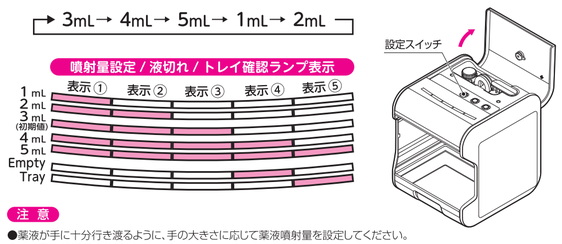
■リセット運転について

一定時間（約7秒間）、薬液を補給したのち自動的に停止します。リセット運転中でも、約3秒経過以後には、再度リセットスイッチを押すことで、停止させることができます。この動作により、正常に補給された場合には薬液切れを解除し、通常使用できる状態に復帰します。

※リセット運転中は、表示①～⑤のLEDが点滅します。

薬液噴射量の変更方法

設定スイッチを押す毎に「薬液噴射量」の設定を変更することができます。噴射量値に応じてLEDランプの点灯数が変化します。



注 意

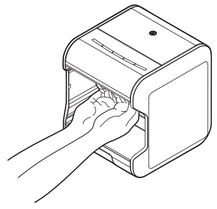
- ●薬液が手に十分行き渡るように、手の大きさに応じて薬液噴射量を設定してください。
- ●噴射量の初期設定値は「3mL」です。
- ●設定した噴射量は、運転スイッチを押して「停止」状態にしても保持されます。
- ●電源プラグをコンセントから抜くと、初期設定値に戻ります。
- ●噴射量は目安の数値です。

手指の消毒方法

①両手をそろえて消毒室に入れます。薬液が噴射するので、指先から手全体までムラなく濡らします。1mL噴射する毎にLEDランプが一つずつ消灯していきます。

②噴射が自動的に停止したら消毒室から手を抜き、薬液をすり込むようにして手指全体に薬液をよくのばして、完全に乾かします。

※薬液切れランプが点灯したら、7ページ「薬液の補給方法」の要領で薬液を補給してください。



注 意

- ●手指センサーが検知しないと噴射しないので、両手をそろえて正しく入れてください。
- ●手を抜くと噴射は停止します。
- ●1回の噴射は「薬液噴射量の変更方法」で設定した噴射量で自動的に停止します。
- ●薬液切れランプ点灯中は、消毒室に手を入れても噴射しません。

お手入れ方法

本製品を末永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。
お手入れの際、必ず運転スイッチを押し「停止」状態にしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外観の掃除方法

1 本体の掃除

汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
汚れがひどいときは、ぬるま湯をふくませた布で拭き取ってください。そのあと、水で濡らしてよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取り、最後に柔らかい布でから拭きしてください。

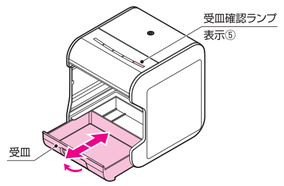
注 意

次のものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・わしなど
化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

2 受皿の掃除

①受皿に薬液が溜まったら受皿を一度、持ち上げてから水平に取り出し、溜まった薬液を捨てます。

②受皿を水洗いしたあと、から拭きし、もとの位置に確実に差し込みます。受皿確認ランプが消灯すれば取り付け完了です。



注 意

受皿は確実に差し込んでください。差し込みが甘いと安全スイッチにより作動しないことがあります。

手指センサー部の掃除方法

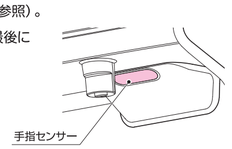
手指センサー部は、下記の要領で定期的（1カ月に1回程度）に掃除してください。
手指センサー部に汚れが付くと、感知しにくくなったり、誤作動の原因になります。

①運転スイッチを押し、「停止」状態にします（6ページ参照）。

②ぬるま湯をふくませた布でセンサー部を拭き取り、最後に柔らかい布でから拭きしてください。

注 意

- ●手指センサー部には、水滴を残さないようにしてください。
誤作動の原因になります。
- ●手指センサー部表面にキズなどをつけないでください。
故障・誤作動原因になります。



噴射ノズル・メッシュの掃除方法

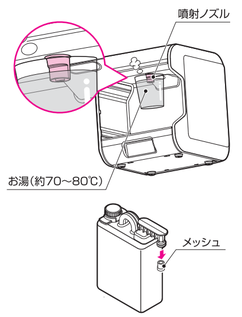
使用中に噴射量が少なくなる、噴射しなくなる、噴射状態に異常があるなどの場合は、噴射ノズルまたはメッシュの目詰まりが考えられます。その場合は次の手順で噴射ノズルおよびメッシュの掃除を行ってください。

①電源スイッチを押して「停止」状態にします（6ページ参照）。

②噴射ノズルを約10分間お湯（約70～80℃）に浸します。そのあと、噴射穴の付着物（薬液の結晶やゴミ）が取れていない場合は、ブラシで付着物を取り除いてください。

③薬液ボトルのメッシュを外して流水で洗ってください。

④電源スイッチを押して「運転」状態にしたあと、8ページ「手指の消毒方法」と同じ要領で噴射テストを行い、噴射の状態を確認します。



注 意

- ●お湯を扱う際は、やけどをしないように注意してください。
- ●噴射ノズルの先端に異物が残っていないことを確認してください。作動不良の原因になります。

保管方法

長期間使用しないときや保管するとき、薬液を入れたままにしておくと、薬液が乾燥しポンプが固着する場合があるので、必ず以下の手順で薬液を完全に抜いてください。

①操作部フタを開け電源スイッチを押して「運転」状態にします。

②薬液タンクを取り出します。

③リセットスイッチを1回押し、リセット運転（空運転）を行います。

④空の薬液タンクに市販の消毒用エタノール（未変性）を50mL以上補充し、本体へ装着します。

⑤リセットスイッチを1回押し、リセット運転を行います。

⑥薬液タンクを取り出します。

⑦残った消毒用アルコール（未変性）を捨て、空の薬液タンクを本体に装着します。

⑧電源スイッチを押して「停止」状態にします。

⑨電源コンセントから電源プラグを抜きます。

注 意

- ●薬液タンクの装着・取り外しについては7ページを参照してください。
- ●薬液タンク内の薬液はそのまま長時間放置すると、異物混入や乾燥による固着、腐敗、変性を起こす恐れがあるので、すべて破棄してください。また、空になった薬液タンクは水洗いし、十分に乾燥させてください。
- ●空の薬液タンクは、水洗いして十分に乾燥させたものを使用してください。ほこりよけのカバーをかぶせておくと安心です。

自動ドア連動機能について

この機能は、本製品と自動ドアを連動させ、一定時間消毒を行わなければ自動ドアを開閉できないようにする機能です。

型式 **HDI-2020** 自動ドア連動機能付

注 意

自動ドアへの接続は、必ず本紙に従って正しく行ってください。指定以外の接続方法や部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

自動ドア接続仕様

- ● 出力：無電圧リレー接点 1a
- ● 接点容量（抵抗負荷）：AC125V 3A　DC30V 3A

注 意

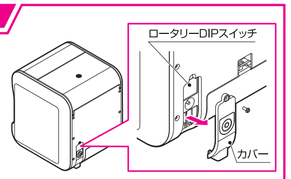
この自動ドア連動機能部に電圧の出力はありません。電気錠などにご使用になる場合は、電気錠メーカーにご相談ください。

接続方法

①製品背面にあるドア出力用端子のカバーを取り外します。

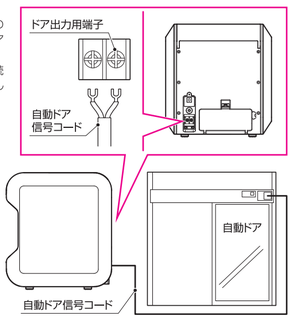
②自動ドアと接続します。

自動ドアの外部機器検知信号端子（検知センサー端子）の信号コードを、ドア出力用端子へ接続します。



注 意

- ●自動ドアの外部機器検知信号端子（検知センサー端子）の位置は、各自動ドアによって異なります。詳しくは、自動ドアメーカーにお問い合わせください。
- ●1カ所の自動ドアに対して、複数台のHDI-2020を接続する場合、各HDI-2020のドア出力用端子を並列に接続してください。



■ロータリーDIPスイッチについて

ロータリーDIPスイッチの切り替えにより、モードの切り替えが行えます。DIPスイッチの変更は必ず電源コンセントを抜いて行ってください。0が初期設定となっています。

ロータリーDIPスイッチ	モード内容
0	消毒噴射量到達後、即時自動ドア連動ユニットON
1	消毒噴射量到達後、１秒後自動ドア連動ユニットON
2～7	消毒噴射量到達後、ｎ秒後自動ドア連動ユニットON
8	消毒噴射量到達後、８秒後自動ドア連動ユニットON
9	消毒噴射即時自動ドア連動ユニットON

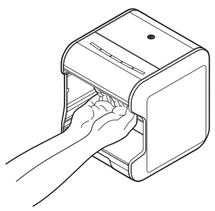
※n秒＝2～7のDIPスイッチの位置で設定した秒数

使用時の自動ドア連動

■設定した噴射量の消毒を行います。

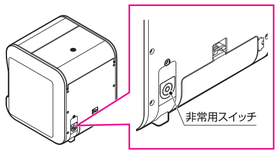
●DIPスイッチ0～8の場合は、設定量の消毒液を噴射すると、約2秒間リレー接点信号を出力し、自動ドアが開きます。
※DIPスイッチが0～8の場合は、設定した噴射量の消毒を行わないと（噴射が自動停止する前に手を抜いた場合）自動ドアは開きません。

●DIPスイッチ9の場合は、消毒液の噴射が始まると、リレー接点信号を出力し、すぐに自動ドアが開きます。
※噴射が止まるとリレー接点信号は出力されません。



注 意

- ●本製品では、自動ドアの開放時間の設定はできません。開放時間の設定に関しては、自動ドアメーカーにお問い合わせください。
- ●非常用スイッチを押すと、消毒を行わなくても、自動ドアを開ける事ができます。
- ●万が一、非常用スイッチが破損した場合は、端子台に接続している自動ドアからの信号コードを短絡させれば、自動ドアを開ける事ができます。



修理を依頼される前に

故障かな?…と思ったら、まず次のことをお調べください。

症　状	調べるところ	ページ
正常に運転しないとき	電源スイッチが “停止” になっていませんか?	6
	電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか?	6
	屋内配電盤のブレーカーやヒューズが切れていませんか?	–
	停電ではありませんか?	–
噴射しないとき	薬液がなくなっていませんか?（薬液切れランプが点灯していませんか?）	4･7
	受皿がはずれていませんか?（受皿確認ランプが点灯していませんか?）	4･6
	手指センサー部が汚れていませんか?	9
	噴射ノズル・メッシュが目詰まりしていませんか?	10

以上のことをお調べになり、それでも不具合症状が解消されない場合には、ご自分で修理なさらないで、電源スイッチを押し「停止」状態にしてから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。

機能停止要領

①電源スイッチを “OFF”（運転ランプが消灯）にします。
②電源プラグをコンセントから抜きます。

次の症状のときは、ただちに運転を停止してお買い求めの販売店もしくは、当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご連絡ください。

(1) ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき。
(2) 電源プラグやコードが異常に熱いとき。
(3) スイッチなどの動作が不確実なとき。
(4) 本体内部に誤って異物や水が入ってしまったとき。

仕　様

項　目	内　容
名　称	サラヤ自動手指消毒器
型　式	HDI-2020 / HDI-2020 自動ドア連動機能付
外形寸法	W250 × D241 × H266 mm
製品質量	2.4kg / 2.5kg（薬液、付属品、梱包部品を除く）
電　源	定格電圧(周波数)：AC100V (50/60Hz)
電源コード	長さ 約1.8m
消費電力	待機時：1W　作動時：5W
使用環境温度	5～40℃（薬液に適切な流動性が保たれていること）
使用環境湿度	20～85％（結露なきこと）
噴射量	約1mL～約5mL間で1mLごとに調整可能（初期設定値 約3mL）
薬液ボトル	専用タンク（容量約1L）
使用薬液(※)	当社指定の薬液

※ 使用薬液は、当社指定の薬液をお使いください。
他社の薬液を使用した場合、トラブルが生じる恐れがありますのでお使いにならないでください。

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

保証について

●裏表紙に保証書が付いています。

保証書に必要事項をご記入のうえ、内容をご確認いただき大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも無料保証できないことがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●保守部品の最低保有期間は、製造終了日から1年です。

保守部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
最低保有期間が経過した場合、修理が不可能になるか、可能であっても、修理費用や修理期間が保有期間内とは異なることがあります。
保有期間内であっても、部品供給メーカー等の都合で、修理が不可能になる場合があります。

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。
※故障の場合は、ご購入日、本製品の型式と、できるだけ詳しい故障状態をお知らせください。

●転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店、もしくは当社の「お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）」にご相談ください。
ご転居先での販売店、もしくは最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

サラヤメンテナンスシステム

本製品のメンテナンスは、当社サービスマンがお引き受けいたします。設置された本製品は、1台ずつ資料を当社にて記録し(コンピューターに登録)メンテナンス報告に基づいて本製品のご利用状況をお知らせするなど、きめ細やかなアフターサービスで、ご担当者のお手伝いもしております。